

第1問

5 10 15 20 25 30

5 A 命令文書を持った使者が畿内と七道の各々に派遣され、官道に沿って管内の国を順に回って伝達し、各国の国司は命令を複写した。  
 B 中央政府からの命令は、国司から在地社会の支配を担う郡司に伝えられた。郡司は地域の有力者に命じて人目につく道路沿いに命令を掲示させ、識字能力のない民衆に読み聞かさせるとともに、彼等が集う村落の伝統的祭祀の場で宴会に先立って確認し、周知した。

第2問

5 10 15 20 25 30

5 鎌倉時代以来、皇室領荘園が朝廷の財政基盤を支えていた。南北朝の動乱期に地方武士らによる荘園侵略が進むと、室町幕府は皇室領を保護するとともに徴税を請け負うなど朝廷の財政を支えた。しかし、幕府の財政が悪化するなか、応仁の乱により幕府の権威が失墜すると、幕府の援助がなくなり、財政難から讓位は困難となった。

第3問

5 10 15 20 25 30

5 A 秀吉政権は兵農分離の徹底や一揆防止のため刀狩を命じたが、江戸幕府は害獣による生産減少や人的・物的被害を危惧し、農村支配の障害にならない範囲で害獣駆除の用途に限り鉄砲使用を認めた。  
 B 綱吉期、生類憐みの令が出されて、死を忌み嫌い生命を大切にする風潮が生じるなど、仏教に基づく慈愛の価値観が広まっていた。

第4問

5 10 15 20 25 30

5 A 小学校令で義務教育が導入され、識字や計算能力など実学を習得したことは労働者の質を向上させた。また、繊維業では器械製糸の発達、紡績機械の輸入や蒸気機関の発達により生産量が増加した。  
 B 工場法の施行や労働組合運動の発展で労働者の保護・労働環境の整備が進み、大学令による高等教育機関の拡充で労働者の専門性も向上した。また、工業原動力への電力の利用がいっそう進展した。